Creative Enzymes®

ネイティブ微生物アルカリフォスファターゼ

Cat. No. DIA-181

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

由来	微生物
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
濃度	タンパク質濃度は約20 mg/mlです。
緩衝液	5mM Tris、5mM MgCl2、0.1mM ZnCl2を含む50%グリセオールの溶液。
単位定義	1ユニットは、37度、pH 9.8の条件下で、マグネシウムと亜鉛の存在下で、1分あたり1マイクロモルのp-ニトロフェノールリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8度での保管